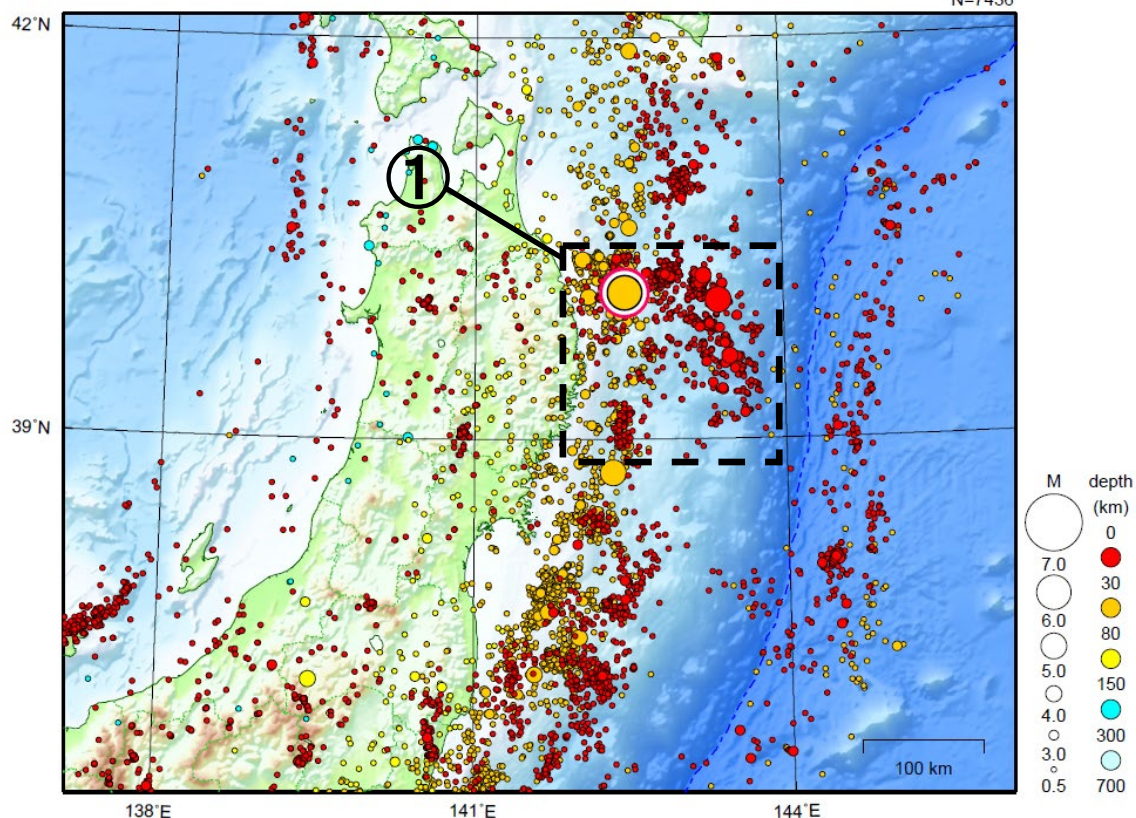


東北地方

2026/07/01 00:00 ~ 2026/07/31 24:00

N=7436



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 7月1日に岩手県沖で M6.1 の地震(最大震度4)が発生した。2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動域では、7月中に震度1以上を観測した地震が17回(震度4:1回、震度3:3回、震度2:3回、震度1:10回)発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

7月1日、14日 岩手県沖の地震

(2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動)

2026年7月1日21時08分に岩手県沖の深さ40kmでM6.1の地震(最大震度4、今回の地震①)が発生した。また、7月14日17時07分にほぼ同じ震央の深さ39kmでM5.0の地震(最大震度3、今回の地震②)が発生した。これらの地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。これらの地震の発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ型である。

2020年9月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2025年11月4日からまとまった地震活動が見られるようになり、11月9日にM6.9の地震(最大震度4)が発生した。その後、この地震の北西側で2026年4月20日にM7.7の地震(最大震度5強)が発生すると、地震活動はさらに活発となった。さらに2026年6月25日にはM7.2の地震(最大震度6強)が発生し、その近傍で今回の地震が発生した。

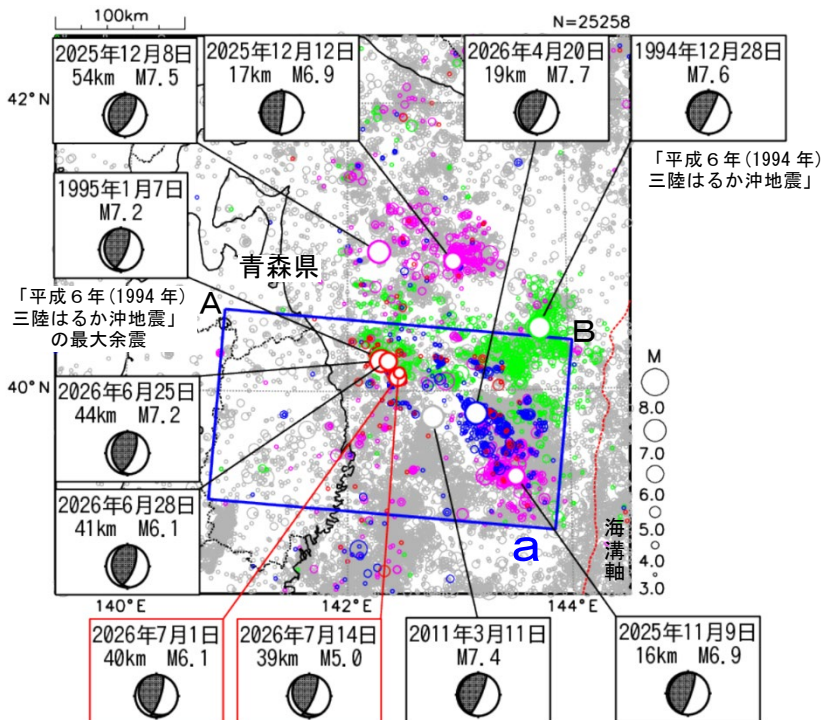
2025年11月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、2026年4月20日に発生したM7.7の地震以降、地震活動域が北西側に広がっている。この活動域の北西端で2026年6月25日にM7.2の地震が発生し、その後1週間以内にM6.0以上の地震が2回発生した(6月28日M6.1、7月1日M6.1)。領域cでは、2026年7月1日から31日までに震度1以上を観測する地震が17回(震度4:1回、震度3:3回、震度2:3回、震度1:10回)発生するなど、活発な地震活動が継続している。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、1995年1月7日にM7.2の地震(最大震度5、「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の最大余震)が発生している。

震央分布図

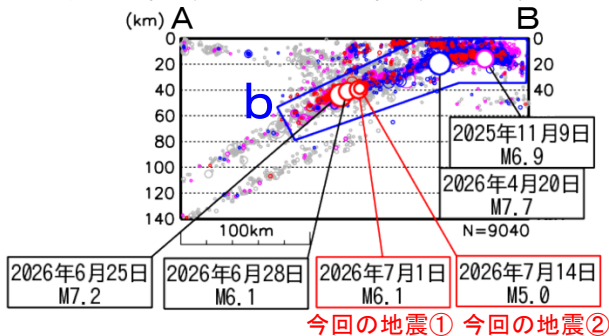
(1994年12月1日~2026年7月31日、深さ0~140km、 $M \geq 3.0$)

● 1994年12月1日~1995年1月31日 ● 1995年2月1日~2025年10月31日
● 2025年11月1日~2026年4月19日 ● 2026年4月20日~2026年6月24日
● 2026年6月25日以降 図中の発震機構はCMT解を示す



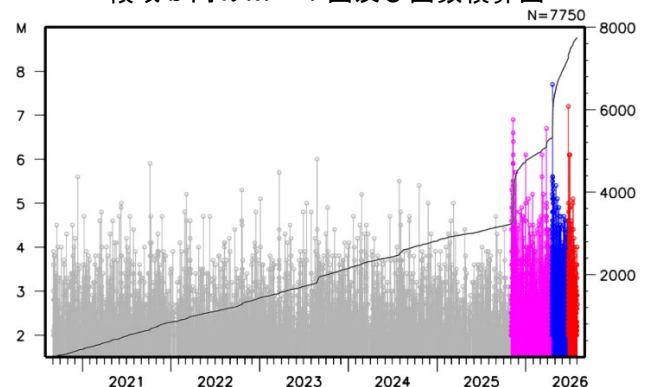
今回の地震① 今回の地震②

領域a内の断面図(A-B投影)
(2020年9月1日~2026年7月31日、 $M \geq 2.0$)



今回の地震① 今回の地震②

領域b内のM-T図及び回数積算図

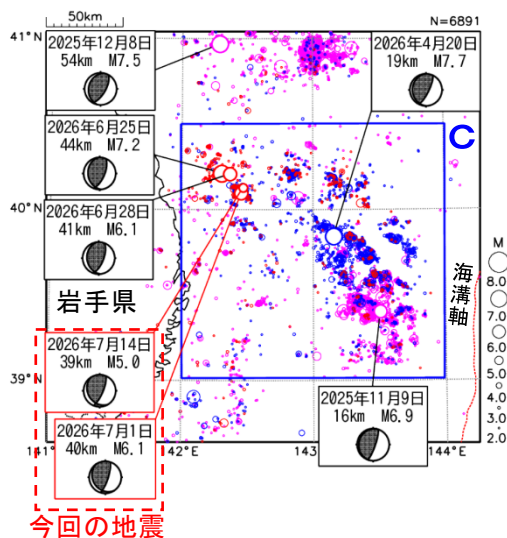


気象庁作成

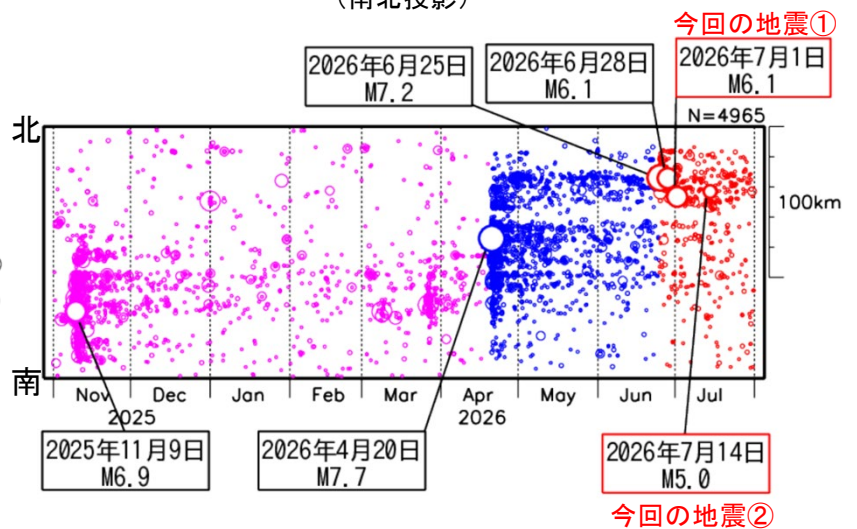
震央分布図及び領域 c 内の時空間分布図
(2025年11月1日～2026年7月31日、
深さ 0 ～80km、 $M \geq 2.0$)

- 2025年11月1日～2026年4月19日
- 2026年4月20日～2026年6月24日
- 2026年6月25日以降

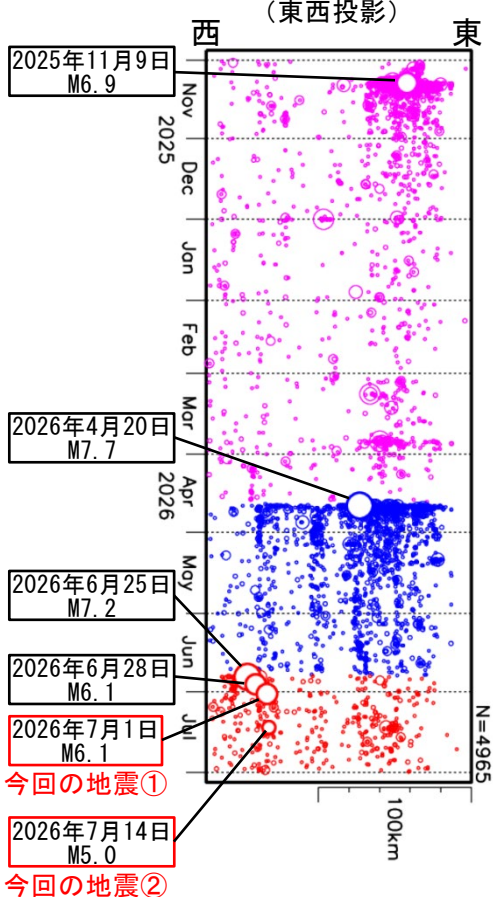
図中の発震機構はCMT解を示す



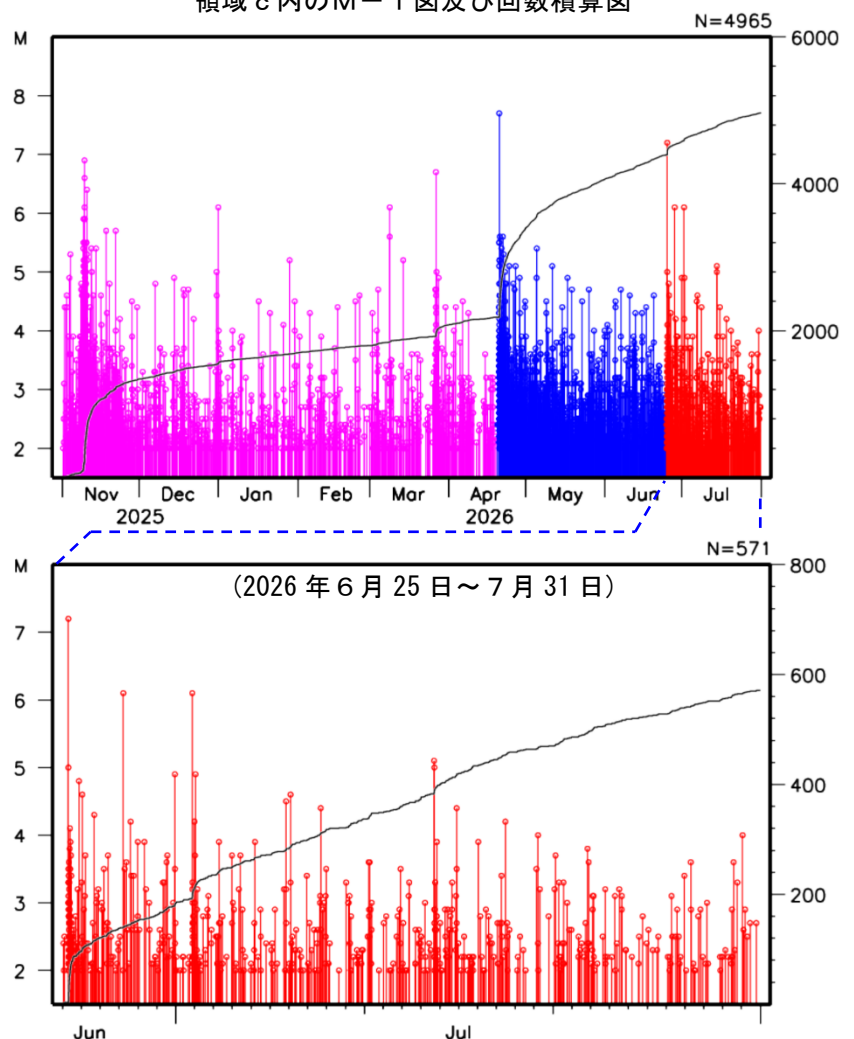
(南北投影)



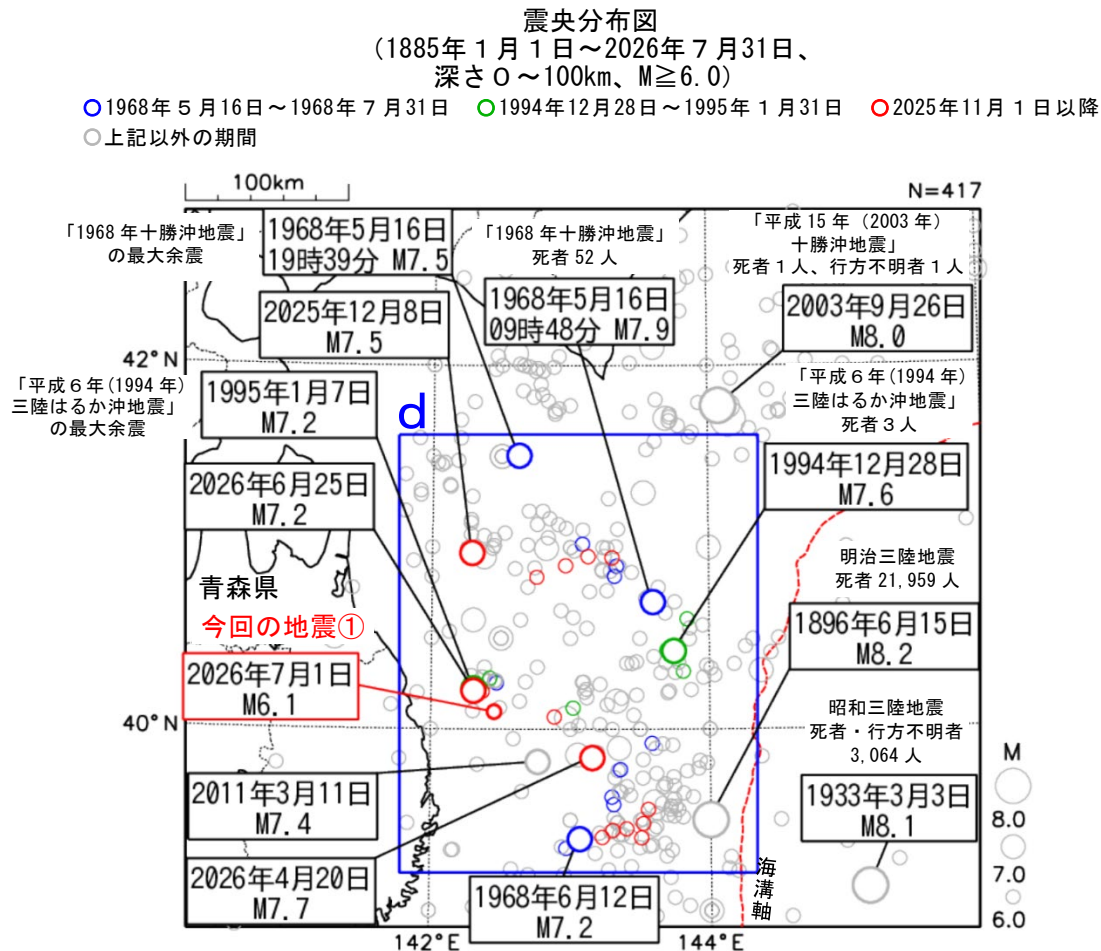
(東西投影)



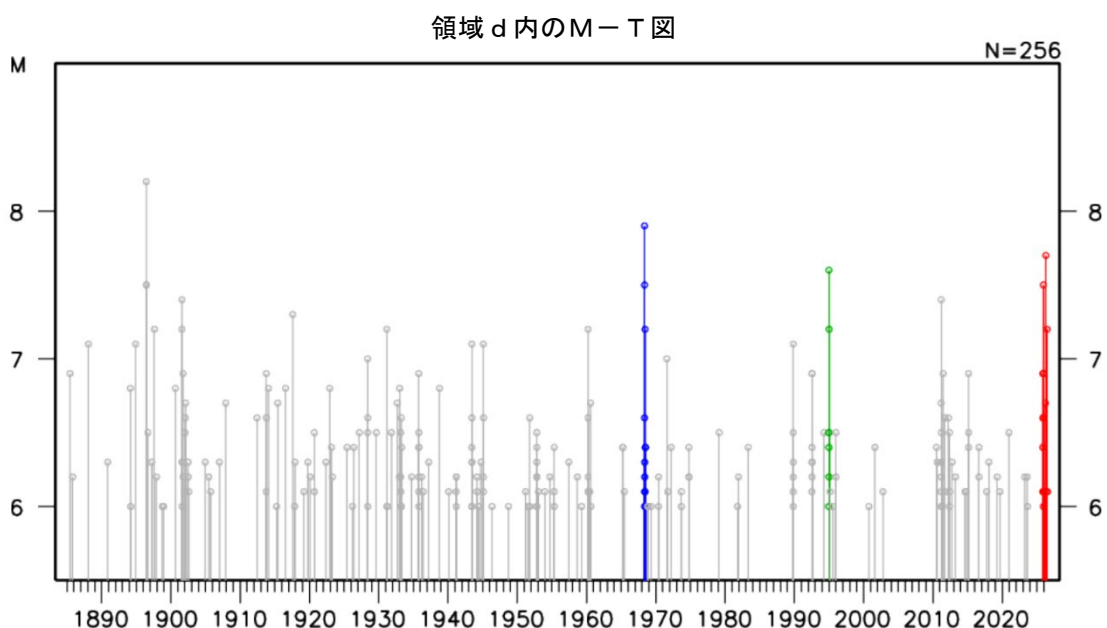
領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）は、M7を超える規模の大きな地震が度々発生するなど、地震活動が活発な領域である。1896年6月15日にはM8.2の地震（明治三陸地震）が発生し、死者21,959人などの甚大な被害となった（被害は「日本被害地震総覧」による）。



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による※¹。
被害は、「日本被害地震総覧」による。



※¹ 宇津徳治、日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、57、401-463、1982。
宇津徳治、日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642、1985。
茅野一郎・宇津徳治、日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、2001、657pp。

2026年6月25日 岩手県沖の地震で観測した津波

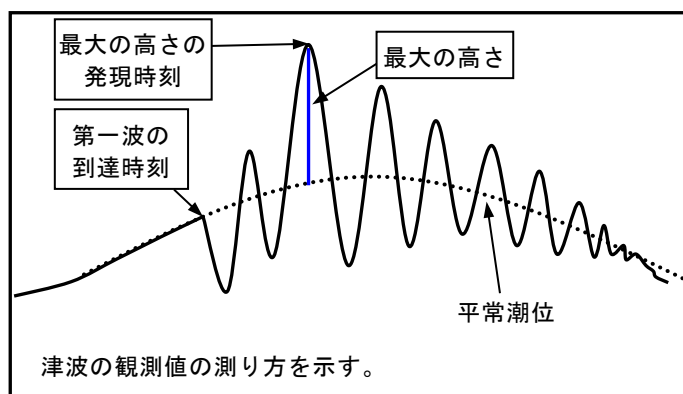
岩手県の久慈港（国土交通省港湾局）で16cmの津波を観測するなど、青森県と岩手県の太平洋沿岸において津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、6月25日07時39分に北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸及び岩手県に津波予報（若干の海面変動）を発表した。津波観測値（暫定値）は以下のとおり。

津波観測値（2026年6月25日、暫定値）

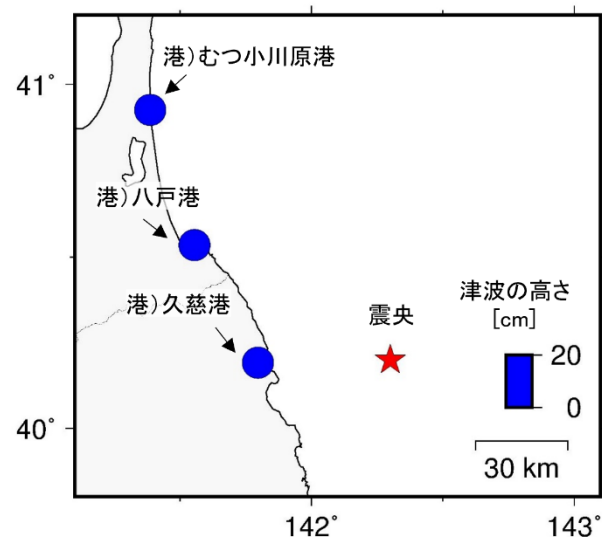
都道府県	観測点名	所属	第一波			最大波			
			到達時刻			発現時刻			高さ [cm]
			日	時	分	日	時	分	
青森県	むつ小川原港	国土交通省港湾局	25	07	57	25	09	01	5
	八戸港	国土交通省港湾局	25	-	-	25	10	25	8
岩手県	久慈港	国土交通省港湾局	25	07	53	25	09	28	16

-は値が決定できないことを示す。

観測値は、所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。精査により変更される場合がある。

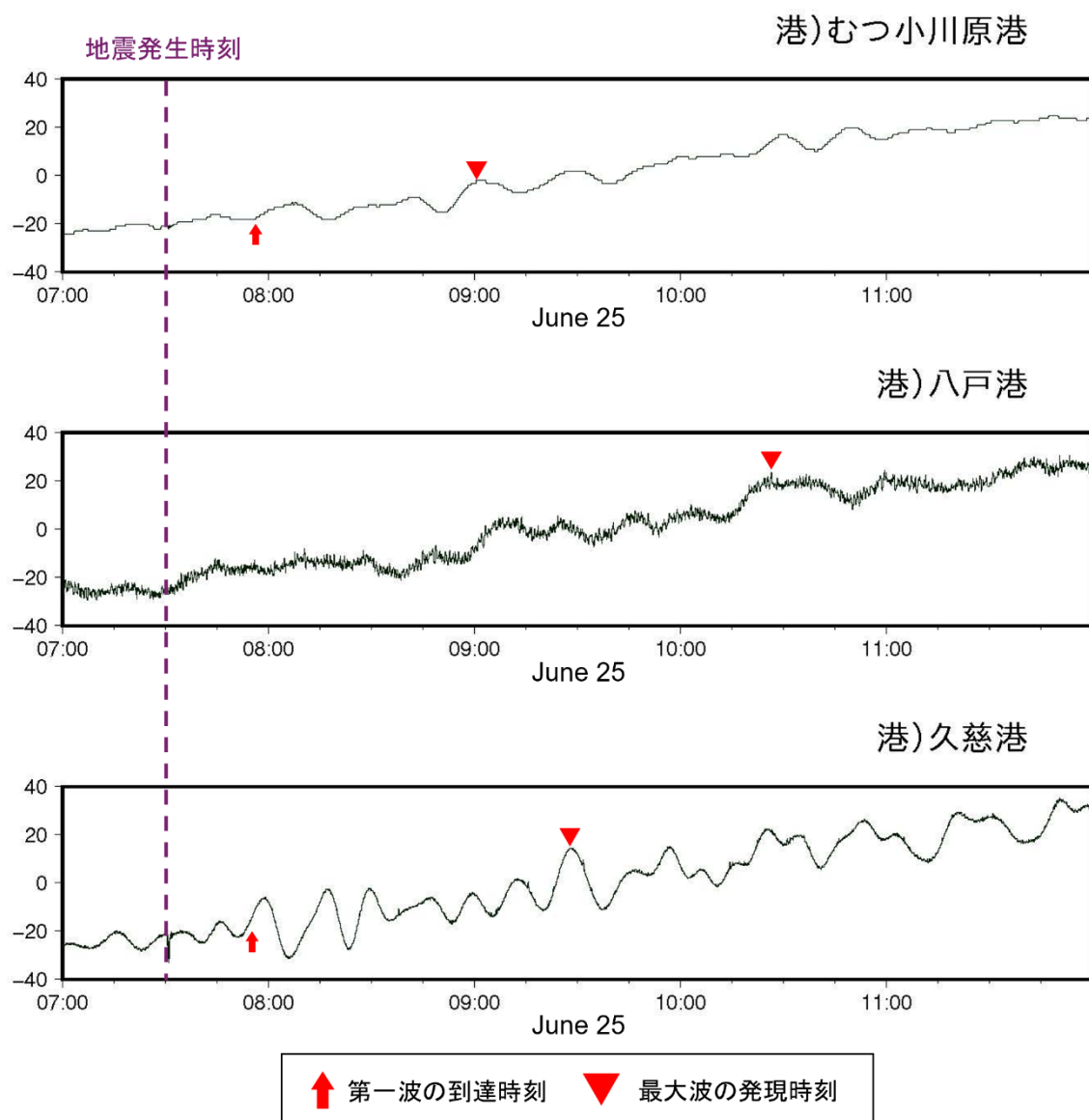


津波の測り方の模式



津波を観測した地点

港)は国土交通省港湾局の所属であることを示す。



津波波形（2026年6月25日07時から12時まで）
縦軸の単位は cm。港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す。